

# 専門里親通信教育受講要領

## 1. 専門里親とは

専門里親とは、家庭での親密な人間関係の中での養育を必要とする被虐待児に対して、(1) 養育経験があり、関わりのむずかしい子どもの養育に意欲のある養育里親、またはその経験者または、(2) 福祉、保育・教育、保健・医療などに従事した経験のある専門職で、厚生労働省が省令で定める所定の科目を修め、都道府県知事・指定都市長が認定した人をいいます。

## 2. 本通信課程の特色

- 1)本課程は、通信教育によって専門里親になろうとする方々を対象とします。
  - 2)学習内容は、基礎的な科目が多くを占めますが、テキストや参考文献などを中心とした自宅学習（通信授業）と面接授業（スクーリング）があります。
- \*この他に、都道府県知事・指定都市が行う7日間の児童福祉施設実習があります

## 3. 自宅学習

- 1)自宅学習では、表1に示した8科目を履修します。教科書（テキスト）をもとに各章、各節の要点の把握に努めてください。

表1. 養育の本質・目的及び対象の理解に関する科目

科 目	主 な 内 容
1. 社会福祉概論	福祉とは、社会福祉の動向、基礎構造改革、福祉の領域、ノーマライゼーション
2. 児童福祉論	法制度の実施体制、相談機関、児童福祉施設の現状と課題、子どもの権利条約
3. 地域福祉論	在宅福祉の意義、連携の必要性と実際、
4. 養育家庭論	社会的養護の体系、家庭的養護の現状と課題、児童相談所とのパートナーシップ
5. 発達・臨床心理学	心の健康、アタッチメント、分離と喪失、被虐待体験の影響
6. 社会福祉援助技術論	カウンセリングの基本
7. 養護原理	アセスメント、養育の原理
8. 医学(児童精神医学を含む)	D S Mと主な精神障害、軽度発達障害

- 2)テキストは、次の教材を用いますので、各自で入手して下さい。但し、①は後日送付しますので、購入の必要はありません。  
②と③のテキストは、全国社会福祉協議会出版部（東京都千代田区霞が関3-2-2新霞が関ビル TEL:03-3581-9511 FAX:03-3581-4666）へ、直接申込んで下さい。別紙に、申込用のファクシミリ用紙を添付しましたのでお使いください。

また、図書館等から貸出手続きをとってもよいです。

①専門里親モデル実施調査研究委員会編.専門里親養育マニュアル.全国里親会(平成14年)発行.(別途送付します)

②『新版・社会福祉学習双書』編集委員会編.全国社会福祉協議会(平成14年)発行.

第1巻 社会福祉概論、第4巻 児童福祉論、第7巻 地域福祉論、  
第8巻 社会福祉援助技術論、第9巻 心理学、第12巻 医学一般  
各巻2,000円(税別)

③新・保育士養成講座編纂委員会編.全国社会福祉協議会(平成14年)発行.  
第8巻 養護原理 1,800円(税別)

#### 4. 面接授業(スクーリング)

- 1) 面接授業は、本課程修了の必須要件となっていますので、必ず出席して下さい。
- 2) 面接授業は2回開催を予定していますが、定員を満たない場合は1回(東京会場)になる場合もあります。
- 3) 面接授業では、表2のような科目を講義、演習などを通じて学びます。

表2. 養育の内容及び方法の理解に関する科目

科目	主な内容
児童虐待援助論	被虐待児の心理と行動、被虐待児への関わり方
思春期問題援助論	思春期児童の心理と対応
家族援助論	家庭復帰の援助に向けて(家族の再統合)
専門里親演習	ロールプレイグ等を通じた体験学習

- 4) 面接授業の会場は、東京会場(日本子ども家庭総合研究所)の他、参加者数が多い場合は、大阪又はその近県の会場を予定しております。
- 5) 面接授業中の宿泊などの詳しい内容は、後日送付する「スクーリングの手引き」を参考にしてください。

#### 5. 学習のすすめ方

- 1) 本通信教育は、約3ヶ月間で修了することを目的とします。
- 2) 毎月レポート提出が2科目から3科目ありますので綿密な学習計画をたて、短期に集中した学習が必要です。
- 3) 毎日の予定は、仕事や生活の実情にみあった、無理のないようにたてましょう。そのためには学習科目ごとのテキストの読み取り、レポート作成日程などを決めておくといよいでしょう。
- 4) スクーリングの日程は別記のとおりですが、あらかじめ家族や職場など関係する方の理解を得ておきましょう。

#### 6. 考査(テスト)

- 1) テストは、各担当講師から出された課題についてのレポートと面接授業をもって

評価します。

- 2) リポートは、3期に分けて、1か月当たり2から3科目を下記の締切日までに提出してもらいます。
- 3) リポートの課題は、各科目のリポート提出締切日の約2週間前に通知します。
- 4) リポートの提出期限は表3のとおりです。提出期限は、郵送日の消印をもって有効とします。

表3 各科目のリポート提出日

	対 象 科 目	締 切 日
第1期	社会福祉概論、児童福祉論、	平成14年10月9日(水)
第2期	地域福祉論、養育家庭論、発達・臨床心理学	平成14年11月5日(木)
第3期	社会福祉援助技術論、養護原理、 医学(児童精神医学を含む)	平成14年11月30日(土)

- 4) リポートは、市販の原稿用紙(20字×20行)を用い、課題の説明を3枚程度にまとめてください。
- 5) 原稿用紙は、横書きに用い、句点や句読点、カギかっこ、小文字などもひとマスに入れてお書き下さい。但し、英語と1、2、3などの数字はひとマスに2文字とします。
- 6) 教科書や他の参考図書から文章を引用する場合は、引用部分はカギかっこをし、その後にかっこ書きで、引用した著者名、図書・文献名、発行年、頁数～頁数、出版社名などを入れてください。  
例) ○○子は、「△△△△△△」と指摘している(○○子. 現代福祉論. 2001:65-66. 凸凹出版)。
- 7) リポートをワープロ入力される場合は、全体の文字数(1200字程度)を考慮しなるべくB5判用紙を用いてまとめてください。書き方は原稿用紙と同じです。
- 8) 書き終えたりレポート原稿は、提出前に必ず読み返し、誤字、脱字がないか点検してください。また、コピーを1部とっておくとよいでしょう。
- 9) 原稿用紙を書き終えたら、①科目名、②リポートの課題名、③都道府県・指定都市名、④氏名を記入した表紙をつけ、左上を綴じて提出してください。
- 10) リポートは、同封の返信用封筒に入れて送付してください。
- 11) 提出期限は、締切日の消印をもって有効とします。それ以降は、受付されませんのでご注意ください。
- 12) 提出期限に間に合わせる場合の速達料金は、ご自身で負担して下さい。

## 7. 考査結果の判定・通知

- 1) 考査結果は、各期別にお知らせします。
- 2) 最終的な修了判定は、リポートと面接授業の結果を合わせて判定します。
- 3) 結果は、都道府県・指定都市の子ども家庭主管部局長と本人あてにそれぞれ通知します。
- 4) 考査の結果、合格点に達しなかった科目は、追試験を行います。  
追試験の結果、合格点に達しない科目が1科目についてのみ、次年度に再履修

ができます。

5)通信教育期間中、所定の単位が履修できなかった場合、1科目についてのみ翌年度に再履修ができます（その場合の考査料は有料になります）。

#### 8. 修了証書の交付

全科目を履修された方には、通信教育終了証書が授与されます。

#### 9. その他

この通信教育について不明な点がありましたら、下記へご連絡ください。

（〒106-8580）東京都港区南麻布5-6-8 日本子ども家庭総合研究所

「専門里親養成教育検討委員会」

電話：03 - 3473 - 8446 FAX:03 - 3473 - 8408

## 前期（東京会場）スクーリング日程

期間：平成14年10月4日～6日

会場：日本子ども家庭総合研究所

10月	午 前	午 後
4日 (金)	<p>10:00 受付・オリエンテーション</p> <p>10:30 講義① 専門里親制度の意義と目的</p> <p style="text-align: center;">日本子ども家庭総合研究所 ソーシャルワーク研究担当部長 才村 純</p> <p>12:00</p>	<p>13:00 自己紹介</p> <p>14:10 休憩</p> <p>14:30 講義② 児童虐待援助論</p> <p style="text-align: center;">井上小児科医院 院長 井上 登生</p> <p>16:30</p>
5日 (土)	<p>9:00 専門里親演習 ロールプレイ</p> <p style="text-align: center;">吉備国際大学社会福祉学部 助教授 加藤 博仁</p> <p>12:30</p>	<p>13:30 講義③ 家族援助論</p> <p style="text-align: center;">二葉乳児院 院長 鈴木 祐子</p> <p>15:00 休憩</p> <p>15:15 講義④ 思春期問題援助論</p> <p style="text-align: center;">子どもの虹情報研修センター 研修課長 増沢 高</p> <p>16:45</p>
6日 (日)	<p>9:30 グループ討議</p> <p>進行 日本子ども家庭総合研究所 研究員 澁谷 昌史</p> <p>助言 自治医科大学 小児科 塩川 宏郷 青山学院大学 教授 庄司 順一 ・他</p> <p>11:30 意見交換</p> <p>進行 日本子ども家庭総合研究所 研究企画・情報部長 小山 修</p> <p>12:30</p>	